

## 優秀賞

### 「凶器」凶器にもなる自転車

前原東中学校 1年 梅本 華蓮

今の私にとって、自転車は便利なものだと思う。しかし一方で、不便な点もあると思う。

私は毎日、自転車に乗って通学している。そのため、とても身近な存在である。自転車はとても便利な乗り物だが、時には凶器にもなることが、国語の学習を通して分かった。

自転車の便利な点は、免許不要で、小回りが利くことだ。少しせまく、自動車では入れない道でもスムーズに通ることができる。ガソリンが不要なので、環境にもやさしい。

しかし、近年では自転車の交通事故が増えており、死者も多数出ている。特に、子どもやお年寄りが被害にあっている。加害者の多くは、イヤホンやスマートフォンをしながら運転をしたり、「ながら運転」をしたりしていたようだ。

このように、自転車は「凶器」にもなりうるということが、学習を通して分かった。

もっと学習を深めるため、自転車の定義について書かれてある文章を読んだ。私はこの文章を読んで、驚いたことがたくさんあった。

例えば、「踏切では、自転車を押して歩かなければならない。」や「並進通行は、違反行為になり罰金となる。」などにとっても驚いた。今までは、問題ないと思っていたことも違反だったと知り、責任の重さを感じた。また、学校では、ヘルメットを着用して登下校しなければならない。最初は、暑いからつきたくないと思っていたが、今では、ヘルメットを必ずしないといけないと危ないと思うようになった。親や先生も、私達の安全を思って注意してくれていることに、ありがたさを感じた。

学習をする前は、自転車はとても便利な乗り物だと思っていたが、この学習を通して、自転車は、とても危ない乗り物であることを実感した。しかし、今の私にとって自転車は、欠かせない存在だ。これから自転車に乗る際は、「凶器」になる乗り物だということを頭に入れて、安全に運転をしたい。